

回生電力による省エネとBCP、さらなる認知と普及へ

電力回生用インバータ装置 PAR-CUBE



電力回生用インバータ装置「PAR-CuBe(パルクューブ)」は、これまで捨てていた電気を「蓄え」「使う」ことができる省エネ製品。工場設備や立体駐車場、昇降機などの回生電力を使ってエネルギーを有効に活用できることから、近年、カーボンニュートラル社会の実現へ向けた環境意識の高まりを受けて需要が増加しています。

例えば、立体駐車場の場合、車両を載せたパレットが下降する際に発生する回生電力を充電し、パレットが上昇する時の電力をアシストすることで、大幅な省エネをはかることができます。また、回生電力を蓄えておくことで、災害による停電時にも車両の出庫が可能になるなど、BCP対策の観点からも注目が集まっています。

私たちシヅキは、このPAR-CuBeのように、電気エネルギーのより良いマネジメントにつながる製品の提案・発信に取り組むことで、「回生電力による省エネとBCP」という可能性をより多くの方々に認知していただき、地球環境や企業活動の持続可能性を高めることに貢献していきます。

トヨタ自動車 元町工場での実証試験

トヨタ自動車株式会社の元町工場において、電解コンデンサを用いた電力回生インバータ装置の開発と実証試験を行い、省エネの効果を確認することができました。



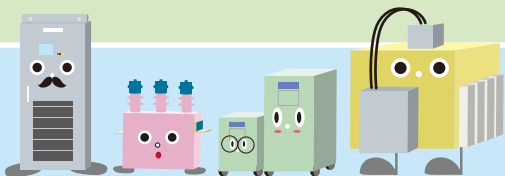
トヨタ自動車 元町工場



元町工場での実証試験装置

教えて!

デンリョくん



一台で何役もお任せ! テーマパークの名キャスト?!

大きなショッピングモールや工場では、たくさんの電気が使われているよね。そこで活躍しているボクたちの仲間が、高圧進相コンデンサ設備「Q-PAC」! 「力率改善」といって、施設が受け取った電力をムダなく、効率よく使うサポートをしたり、電気障害の原因になりやすい「高調波」の広がりを防いで、まわりの機器を守ったり。1台で何役もの働きができるから、省エネ&省スペースな装置として人気が集まっているんだ。一人で何役も演じ分けるキャストみたいに、Q-PACは大型のテーマパークにも採用されて、大活躍しているんだよ。

